

# 平成14年度 障害保健福祉関係 第1次補正予算(案)の概要

平成14年12月  
障害保健福祉部

第1 経済・社会構造の変革に備えたセーフティネットの構築  
少子・高齢化の進展に備えた公平で安心な社会の確立

## 障害者施策の推進

(144.7億円)  
132.3億円

上段( )は、「社会福祉施設の耐震化関係事業」(12.4億円)を含む。

### (1) 障害者サービスの緊急基盤整備 78.4億円

**障害者施設の緊急基盤整備 69.1億円**  
(国1/2、都道府県1/4、設置者1/4)

支援費制度の実施に向けて障害者が自らに適した福祉サービスを選択できるよう、障害者福祉施設サービスの提供体制の緊急整備を図る。また、入所者の生活の質の向上を図る観点から、身体障害者療護施設等の個室化のための改築等を行う。

**国立更生援護機関の施設整備 9.3億円**  
(国10/10)

国立身体障害者リハビリテーションセンターの防災設備の改修等を行う。

**介護予防等拠点整備の促進 (老健局一括計上)**

障害者の生活訓練等の場の整備等、市町村が地域の実情に応じて障害者の社会生活力を高めるための事業などに活用する拠点を緊急整備する。

### (2) 地域における障害者の就労支援 52.3億円

**就労・地域生活支援強化事業の推進 50.0億円**  
(国1/2、都道府県・指定都市・中核市・市1/2)  
(国1/2、都道府県1/4、町村1/4)

障害者福祉施設の障害者等に対して、施設機能を活用して、就労・地域生活移行の推進を図るための短期集中訓練の実施、緊急職場開拓や就労の場の確保等を行うことにより、障害者の就労支援等を行う。

**精神障害者就労支援体制整備事業 1.3億円**  
(国1/2、都道府県・指定都市1/2)

精神障害者地域生活支援センターにパソコン機器を配備し就労支援に活用する。

**(心身障害者福祉協会) 地域生活体験・就労の場の設置 1.0億円**  
(法人への現物出資)

重度知的障害者のための地域生活体験・就労の場を設置し、働く意欲や能力のある障害者の就労の環境を整備する。

### (3) 点字情報ネットワークシステムの改善 1.6億円

**視覚障害者の社会参加の促進 1.6億円**  
(国10/10)

情報取得に制限のある視覚障害者に対し、よりの確かつ即時に情報提供が行えるよう点字情報ネットワークシステムの改善を図り、視覚障害者の社会参加を促進する。